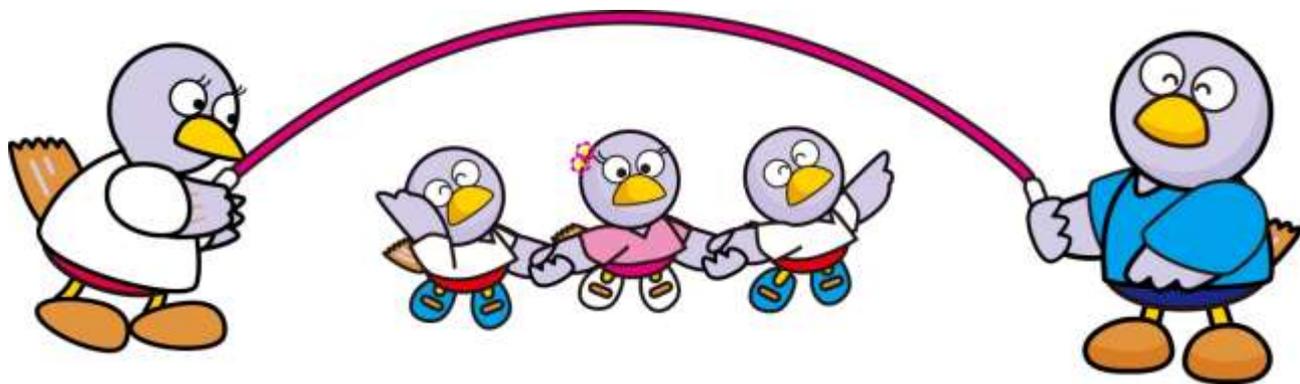


小兒等在宅医療連携拠点事業 成果報告



© コハト

埼玉県

各事業タスクに対する取組

① 行政、地域の医療・福祉関係者による協議の開催と課題の抽出・対応方針の策定

- 小児在宅医療連携小委員会の開催(年3回)
- 前年度事業を踏まえた課題に対する対応方針を策定

② 地域の医療・福祉資源の把握と活用

- 病院、小児科医、訪問看護ステーション、訪問介護事業所へのアンケートを実施
→小児の受入が可能な施設の把握、不可の施設についてはその理由を抽出
- アンケート回答機関に「小児在宅医療支援研究会」の開催通知を送付するなどして、ネットワークへの参加を呼びかけ

③ 小児在宅医療に関する研修の実施等による資源の拡充と専門機関との連携

- 小児在宅医療の担い手となる人材を育成(職種別研修)
訪問看護師対象研修会(5日)・医師向けワークショップ、実技講習会(各1日)・保健師研修会(1日×2回)・小児在宅医療支援研究会(1日×4回)
- 小児在宅医療研修会(県医師会主催 3回開催)

④ 地域の福祉・行政関係者との研修・アウトリーチによる理解・連携促進

- 保健所、市町村福祉担当課等を交えての退院カンファランス・院内多職種連携合同カンファランス等の実施
- 川越市自立支援協議会くらし部会への参加(4回)

⑤ 患児・家族の個別支援

- カルガモの家における在宅医療移行支援、レスパイト通所・入所支援、訪問看護ステーションとの連携
- 埼玉医科大学総合医療センター小児科における二次救急・三次救急の24時間対応

⑥ 患児・家族や学校関係者等への理解促進等

- 特別支援学校職員を対象とした医療的ケア講習会への講師派遣(9回)
- 障害児通園施設に対して医療的ケアについて指導(2回)
- NICU退院児家族のための「Happy smileの会」(1回)
- 市民公開シンポジウム等において小児在宅医療支援の重要性に関する講演を実施(2回)

今後必要となる取組

これまでの取組

- 医療資源の把握及び資源拡大に必要な条件等を調査
- 小児在宅医療啓発のための研修実施 (H24～)
- グループ診療のモデル実施について関係者と協議を開始 (H25～)

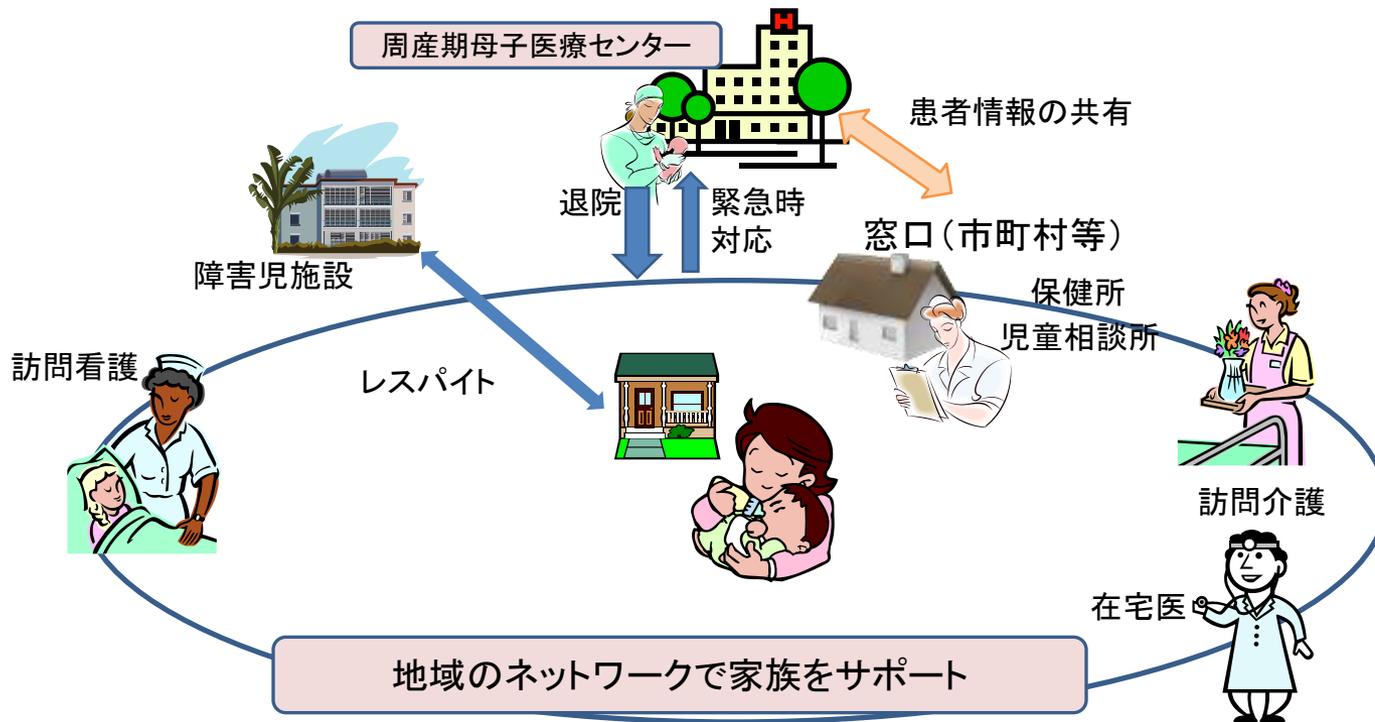
短期的な取組

- グループ診療のモデル事業を開始し、課題を整理
- 在宅医師・看護師・介護士の技術向上のための研修の実施等
- 顔の見える関係づくりの継続

中・長期的な取組

- グループ診療モデルの全県拡大
- 研修会等により小児在宅医療に関する知識や必要性を広く普及
- 地域における患者の窓口となる機関の検討

小児在宅医療の将来図



小児在宅医療検討小委員会の取組

この事業で検討した事業のタスク

- 地域の医療・福祉関係者等による協議の場を定期的を開催し、小児等の在宅医療における連携上の課題の抽出及びその対応方針を策定すること
- 小児等の在宅医療に関する研修の実施により、小児等の在宅医療の受入が可能な医療機関の拡大を図るとともに専門機関とのネットワークを構築すること

小児在宅医療における連携上の課題の抽出及び対応方針

- 小児在宅医療検討小委員会(県医師会・総合周産期母子医療センター・県立小児医療センター・小児科医・在宅医・行政で構成)を3回開催
- 多忙な小児科医だけでなく、在宅医療に対する経験豊富な在宅療養支援診療所など、大人の在宅に取り組む医療機関の協力を得るための仕組みづくりを今年度の取組の柱とした

小児在宅患者診療に必要な条件	回答割合
小児科医とのグループ診療であること	28%
小児に対応できる訪問看護師の支援	9%
診療報酬	1.4%
紹介元医療機関による緊急時の受入	39%

県医師会の協力を得て、小児科医と在宅医の連携による小児在宅医療の支援体制づくりを開始

具体的な取組み及び成果

- 小児等の在宅医療に関する研修の実施
 - 研修1 平成25年 9月 医療と介護と福祉の連携に関する研修会「在宅医療の必要性について」
 - 研修2 平成25年10月 第1回小児在宅医療研修会
 - 研修3 平成26年 2月 第2回小児在宅医療研修会
- ※各地区医師会から在宅医・小児科医が出席
- ※今後は訪問看護師など小児在宅医療に関わる多職種からの発表に拡大
- 郡市医師会レベルで在宅医療支援診療所と小児科開業医がペアとなる取組
 - 基幹病院でサポートされていた在宅医療患者について、医師会の調整により在宅医によるサポートへの移行を実現
- 在宅療養支援診療所へのアンケート
 - 医師会と連名で在宅療養支援診療所における小児在宅医療に対する取り組み状況を調査→今後の働きかけに活用

小児在宅医療連携拠点事業 埼玉県での25年度連携事業について

埼玉医科大学総合医療センター

田村 正徳

埼玉県における小児在宅医療推進 のために医療と福祉の連携に向けた25年度活動

<少ない医療資源の有効活用にはネットワーク>

- ・全国版&地域版小児在宅医療支援研究会
- ・埼玉県医師会との連携→埼玉県母子保健委員会に小児在宅医療検討小委員会を設置
→郡市医師会内で在宅療養支援診療所と小児科クリニック医師のペアを結成して連携
- ・地域の支援をえるための教育関係者・一般市民を対象とした啓発活動
- ・重心施設「カルガモの家」の活用

<情報提供>

- ・ICTを活用した県内の医療福祉資源情報マップ

<人材育成>

- ・先ず病院勤務の医師の意識変革
- ・在宅療養支援診療所や開業小児科医師向け実技講習会
- ・訪問看護ステーション看護師の小児医療研修
- ・実習教材の県下施設や講習会への無料貸し出し

<地域や教育機関で支えていただくための啓発活動>

- ・保健師
- ・教育関係者
- ・NICU卒業生家族
- ・一般市民

平成25年度小児在宅医療関連年間スケジュール

埼玉医科大学総合医療センター 小児科

推進事業・目的	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
埼玉県小児在宅医療支援研究会主催 2011.5.11 初回とし、毎年4回開催。多職種連携、目標の共有、評価 etc.	*5/22(水) 第9回開催 大宮ソニックシティ 602号室 19:00~21:00 特別講演 戸枝陽基先生 「むそう：愛知における地域展開と東京における小児在宅介護の課題」		*7/24(水) 第10回開催 大宮ソニックシティ 603号室 19:00~21:00 特別講演 中野和俊先生 「ひよんな巡り合わせからふじみ野で小児在宅医療を始めて」				*11/20(水) 第11回開催 大宮ソニックシティ 602号室 19:00~21:00 特別講演 緒方健一先生 「ブレンドで変わる小児ケア」			*2/5(水) 第12回開催 大宮ソニックシティ 906号室 19:00~21:00 特別講演 島津智之先生 「子どもたちが地域で暮らすこと」	
アンケート 課題の抽出 各地域の小児在宅医療等の実施体制の実態把握のため。資源マップ作成。				*下旬よりアンケート発送	*中旬締め切り *下旬集計分析	*資源マップ作成	*Google map upload				
医療的連携 カルガモの家等と連携し訪問診療の実践と研修。	*あおぞら診療所前田浩利先生、訪問看護ステーションそら麗厚子先生指導のもとに、カルガモの家のスタッフの訪問診療の訓練と実践(2~4回/月)										
埼玉訪問看護講習会 5回シリーズ。よりよい小児在宅医療を目指し、訪問看護師への充実した研修を行う。							*11/9(土) 第1回開催 *11/23(土) 第2回開催	*12/7(土) 第3回開催 *12/14(土) 第4回開催	*1/18(土) 第5回開催		
医師向け講習会の開催 小児在宅医療に関し、医師への研修、啓発、技術向上を計る。								*12/7(土) 医師向けワークショップ開催			*3/21(祝) 小児在宅医療実技講習会開催予定 大宮ソニック
保健師への働きかけ 小児在宅医療への理解を深める。								*12/5(木)・12/6(金) 保健師研修会開催	*1/16(木)・1/17(金) 保健師研修会開催		
福祉との連携 川越市地域自立支援協議会(暮らし部会)との連携。	*5/10(金) 暮らし部会	*6/20(木) 暮らし部会			*9/6(金) 暮らし部会					*2/7(金) 暮らし部会	
院内多職種連携 埼玉医科大学総合医療センター周産期センター、小児科、カルガモの家、リハビリ科、メディカルソーシャルワーカー、訪問看護ステーションが連携して、小児在宅医療を推進する。	*毎週月曜日、火曜日約2時間検討会実施 *毎週月曜日、火曜日、毎月第4金曜日多職種連携合同カンファランス実施 *適宜症例毎の退院前カンファランスを実施										
教育関係者・地域住民への働きかけ 特別支援学校、障がい児通園施設、NICU卒業生家族に在宅医療への理解と協力を求める。	*5/14(火) 川島ひばりヶ丘特別支援学校に医師派遣 *5/21(火) 川越あけぼの・ひかり児童園に医師派遣	*6/11(火) 川島ひばりヶ丘特別支援学校に医師派遣 *6/18(火) 川越あけぼの・ひかり児童園に医師派遣	*7/16(火) 川島ひばりヶ丘特別支援学校に医師派遣	*8/27(火) 坂戸ろう学園に医師派遣	*9/17(火) 川島ひばりヶ丘特別支援学校に医師派遣	*10/6(日) NICU卒業生家族を集めて「Happy smileの会」開催 *10/29(火) 川島ひばりヶ丘特別支援学校に医師派遣		*12/10(火) 川島ひばりヶ丘特別支援学校に医師派遣 埼玉医科大学市民公開講座への応募	*1/28(火) 川島ひばりヶ丘特別支援学校に医師派遣		*3/9(日) 東埼玉総合病院主催の市民イベントに医師2名派遣。小児の在宅医療についての講演 *3/19(水) 坂戸ろう学園に医師派遣 *3/22(土) 市民公開シンポジウム「すべてのお母さんと赤ちゃんの安全装置としての小児在宅医療支援の重要性」講演
埼玉県との協同作業 県立小児医療センターと連携して、県下の診療所医師に小児在宅医療への支援を求める(県医師会母子保健委員会に小児在宅医療小委員会を設置)。	*5/17(金) 小児在宅医療小委員会設置準備会議① *5/27(月) 小児在宅医療小委員会設置準備会議②	*6/21(金) 小児在宅医療小委員会設置準備会議③			*9/5(木) 医療と介護と福祉の連携に関する研修会「小児在宅医療の現状について」解説 *32 県医師会支部に小児在宅医療支援チームを結成・開始		*各支部の在宅養育支援診療所と小児科医のペアによる訪問診療実施			*2/27(木) 第3回小児在宅医療検討小委員会にて講演	
国への提出				支援対象患者に関する定量的定量的データの提示							報告会
期限				8/16, 8/30			11/22				3/6

埼玉小児在宅医療支援研究会

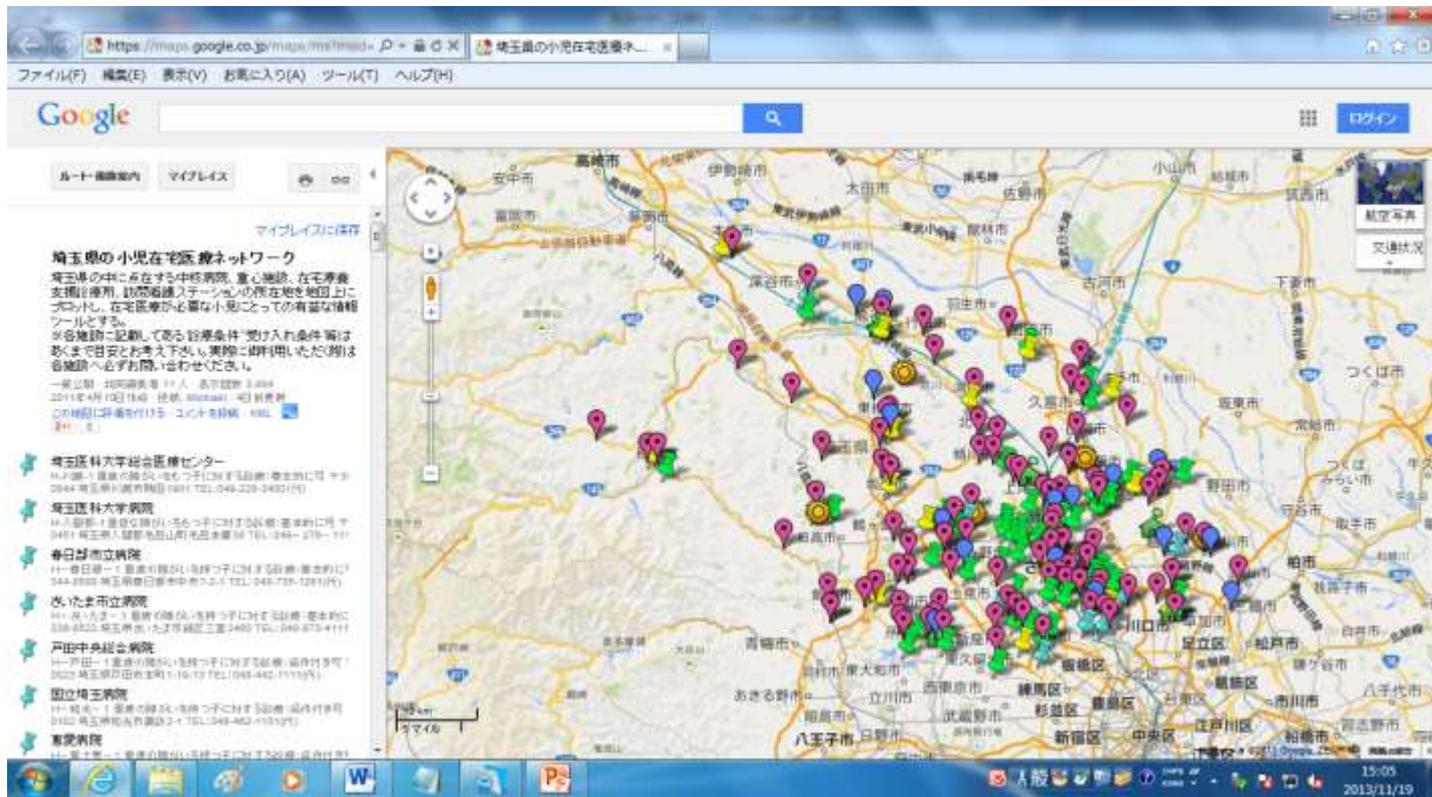
—埼玉県全域を対象とした多職種連携会議を3ヶ月毎に開催—

- 第9回 2013.5.22 大宮ソニックシティ 87名
 - 第10回 2013.7.24 大宮ソニックシティ 63名
 - 第11回 2013.11.20 大宮ソニックシティ 57名
 - 第12回 2014.2.5 大宮ソニックシティ 48名
-
- NPO法人 ふわり、社会福祉法人 むそう 理事長 戸枝陽基先生
「むそう、愛知における地域展開と東京における小児在宅介護の課題」
 - なかの小児科クリニック 院長 中野和俊先生
「ひよんなめぐり合わせから、ふじみ野で小児在宅医療を始めて」
 - おがた小児科内科医院 院長 緒方健一先生
「ブレンドで変わる小児在宅ケア」
 - NPO法人 NEXTEP 理事長 熊本再春荘病院 島津智之先生
「子どもたちが地域で暮らすこと」
- 症例提示をして解決策を議論/医療機関での情報交換

24.その他(企業関係)												
23.介護福祉士												
22.児童指導員												
21.福祉施設支援員												
20.重心施設・相談員・心理士												
19.NPO法人・社会福祉法人理事長												
18.マスコミ関係									●●●			
17.薬剤師									●●●			
16.相談支援専門員									●●●			
15.介護士								●●●	●●●			
14.施設長								●●●	●●●		●●●	
13.ME								●●●	●●●		●●●	●●●
12.行政職員						●●●	●●●	●●●	●●●		●●●	●●●
11.保健師						●●●	●●●	●●●	●●●		●●●	●●●
10.大学職員・大学院生						●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
9.施設職員						●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
8.O.T						●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
7.P.T						●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
6.診療放射線技師					●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
5.MA					●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
4.MSW	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
3.看護師	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
2.医師	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
1.事務	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
職種	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
開催日	2011.5.11	2011.7.28	2011.12.22	2012.3.14	2012.6.14	2012.9.12	2012.11.28	2013.2.20	2013.5.22	2013.7.24	2013.11.20	2014.2.5

小児在宅医療福祉資源調査と Google Mapの作成・公開

- 2012年8月に引き続いて2013年8月に埼玉県の在宅医療関連施設に対してアンケート調査を行った上で施設担当者の了承を得られた情報をGoogle Mapで公開した。
- 対象：病院、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、保健所
- 質問項目：
 - 小児患者を受け入れてくれますか？
 - そのための条件は（年齢、体重など）？
 - HPに公開して良いですか？



前年より埼玉県中に点在する中核病院、重心施設、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションを対象に小児在宅に対して助力していただけたかどうかアンケートを実施し、対応可能と回答して下さった施設をMAP上にプロットしていった。

MAP上のプロット数で言うと、全施設区分共に
前年の約二倍になってる。

	回収件数		受入可能件数	
	24年度	25年度	24年度	25年度
病院	9	13	9	※
クリニック(医師会)	23	141	17	31
訪問看護	108	143	39	100
訪問介護	121	84	34	64
重症心身障がい児入居施設	4	5	2	5

※病院に関してはアンケート内容を変えた為、受入可能件数は出していない。

在宅人工呼吸器管理を行っている病院は9/20(件)である

* 実際の使用について

使用法

自宅住所、あるいは最寄りの駅名等から自身の行きたい施設を検索する



Google

ルート・乗換案内 マイブレイス

マイブレイスに保存

埼玉県の小児在宅医療ネットワーク

埼玉県の中に点在する中核病院、重心施設、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションの所在地を地図上にプロットし、在宅医療が必要な小児にとっての有益な情報ツールとする。

※各施設に記載してある「診療条件」「受け入れ条件」等はあくまで目安とお考え下さい。実際に御利用いただく際は各施設へ必ずお問い合わせください。

一般公開・共同編集者 11 人・表示回数 3,985
2011年4月10日作成・投稿: Michiaki - 4日前更新
この地図に評価を付ける・コメントを投稿する・KML

8+1 0

- 埼玉医科大学総合医療センター
H-川越-1 重度の障がいをもつ子に対する診療:基本的に可 〒310844 埼玉県川越市鴨田1981 TEL:049-228-3400(代)
- 埼玉医科大学病院
H-入間郡-1 重症な障がいをもつ子に対する診療:基本的に可 〒0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38 TEL:049-276-111

Google

ルート・乗換案内 マイブレイス

H-川口-1 重度の障がいを持つ子に対する診療:基本的に可 〒30021 埼玉県川口市西川口5-11-5 TEL:048-253-1551(代)

川口市立医療センター
H-川口-2 重度な障がいをもつ子に対する診療:基本的に可 〒30833 埼玉県川口市西新井宿180 TEL:048-287-2525(代)

中川の郷療育センター
I-松伏-1 重度の障害を持つ小児の外来診療の受け入れ:条件付 343-0116 埼玉県松伏町下赤岩222 TEL:048-992-2701

社会福祉法人毛呂病院 光の家療育センター
I-毛呂山-1 重度の障害を持つ小児の外来診療の受け入れ:基本的に可 〒350-0446 埼玉県入間郡毛呂山町小谷田162 TEL:049-276-1357

南平野クリニック
C-さいたま-1 重度の障がいを持つ子に対する診療:条件付き 339-0051 埼玉県さいたま市岩槻区南平野107-1 TEL:048-756-1616

はとり小児科医院
C-さいたま-2 重度の障がいを持つ子に対する診療:基本的に可 0015 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1145-7 TEL:048-686-1616

森こどもクリニック
C-さいたま-3 重度の障がいを持つ子に対する診療:基本的に可 0012 埼玉県さいたま市中央区大戸2丁目1-2 TEL:048-835-7612

小池内科クリニック
C-さいたま-4 重度の障がいを持つ子に対する診療:基本的に可 0014 埼玉県さいたま市北区上目野3丁目30-8 TEL:048-833-8111

社会福祉法人毛呂病院 光の家療育センター
2012年12月12日更新

I-毛呂山-1
重度の障害を持つ小児の外来診療の受け入れ:基本的に可

〒350-0446
埼玉県入間郡毛呂山町小谷田162
TEL:049-276-1357

光の家療育センター
〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
+81 49-276-1357
park2.wakwak.com/~hikari

ルート 付近を検索 保存 その他

Ex: 光の家に行きたいとした場合、施設名の下段に【英語-漢字-数字】と並びがあるので、同HP上からエクセルファイルを開き 埼玉県の小児在宅ネットワーク施設の詳細(エクセルファイル) 該当する施設の条件を参考にしてください。

C19

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2											
3		医療型障害児入所施設(I)2件									
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											

条件											
年齢	体重 (kg)	在宅人工呼吸器	在宅酸素療法	NPPV	気管切開	経胃薬の経管栄養	経鼻胃管の経管栄養	経鼻十二指腸チューブの経管栄養	中心静脈栄養	導尿	腹膜透析
-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3歳以上	10kg以上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

I-毛呂山-1の項目をみて条件を確認する。
 実際の使用前には各施設に問い合わせさせていただくよう、
 MAP上でもお知らせしている。

- 現在このMAPをみられるのは日本在宅支援研究会のHP (<http://www.happy-at-home.org/12.cfm>)
かあるいは当センター小児科医局HP上 (<http://saitamasougoupedi.com/karugamonoiesyoukai.html>)
から閲覧することが可能です。

※Google マップ使用についてはgoogle社の定める使用方針に則った方法で行っています。

25年度小児在宅医療関連人材育成事業

埼玉訪問看護講習会

第1回 2013年11月9日(土)10:30～17:00 埼玉医科大学総合医療センター 第1会議室
「家族看護」「川越市の母子保健について」「川越市の障害児施策」
「相談支援専門員について」

第2回 2013年11月23日(土)10:15～16:30 埼玉医科大学総合医療センター 第1会議室
「小児看護一元気な子どもの生活、呼吸・食・寝・排泄・体温維持への問題点と対応」

第3回 2013年12月7日(土)10:15～17:00 埼玉医科大学総合医療センター 第1会議室
「小児看護一こどものフィジカルアセスメント、スキントラブルとケア」
「重症児について」「子どもの緩和ケア」

第4回 2013年12月14日(土)10:15～16:30 埼玉医科大学総合医療センター 第1会議室
「退院支援」「子どものリハビリの基礎と実際」「療育施設について」

第5回 2014年1月18日(土)10:15～16:30 埼玉医科大学総合医療センター 第1会議室
「訪問看護実践とマネジメント」

小児在宅医療支援入門ワークショップ 2013年12月7日(土)10:00～18:00
埼玉医科大学総合医療センター小講堂

第5回小児在宅医療実技講習会 2014年3月21日(祝日) 大宮ソニックシティ

医師向け
講習会

平成25年度埼玉県訪問看護講習会

1. 日程

H25.11.9～H26.1.18(全5日)

2. プログラム: 別添

3. 参加人数及び職種

訪問看護ステーションNS: 22人

訪看OT: 1人

病院NS: 3人

療育施設NS: 3人

計29人

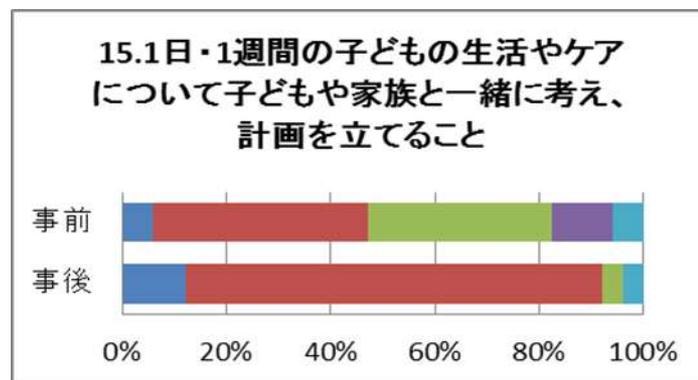
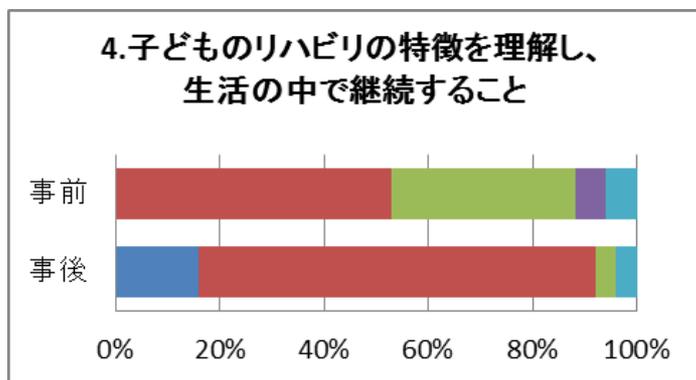
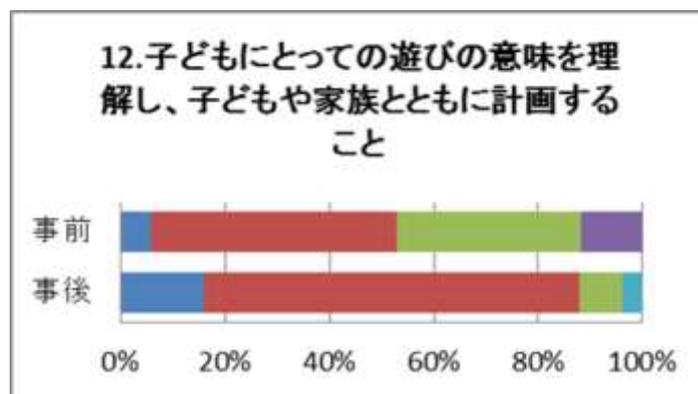
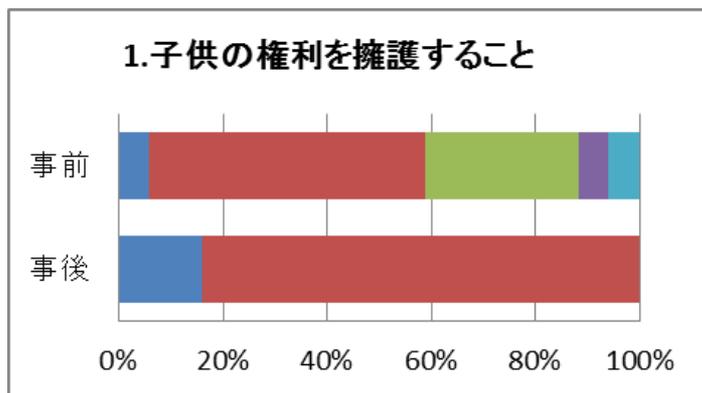
4. 参加市町村

埼玉県西部地区



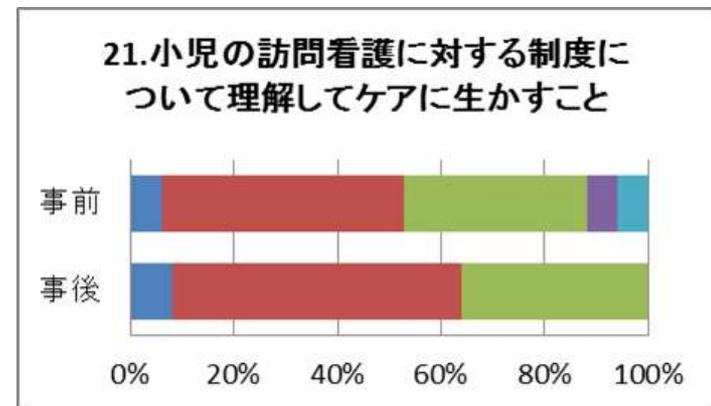
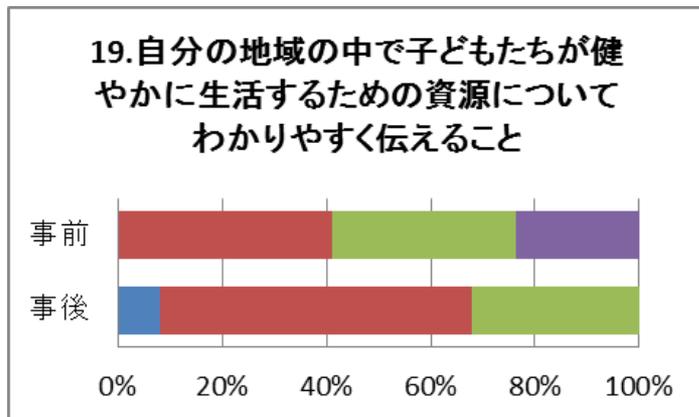
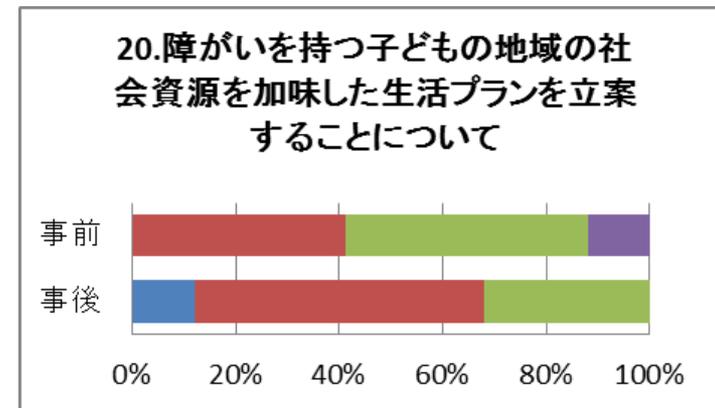
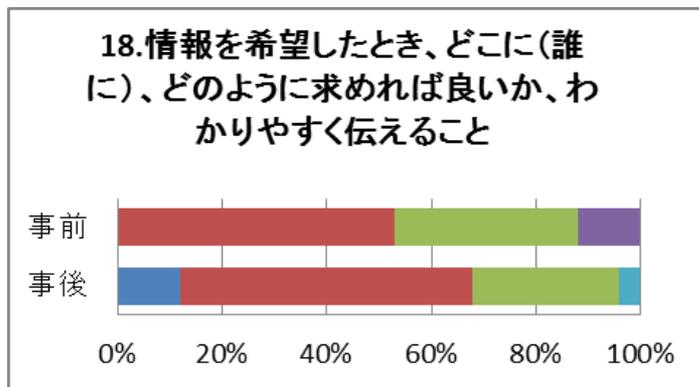
平成25年度小児訪問看護講習会 事前事後アンケート(奈良間ら作成)比較

■ とてもわかる
 ■ わかる
 ■ わからない
 ■ 全くわからない
 ■ 無回答



事前事後アンケート(奈良間ら作成)比較

■ とてもわかる
 ■ わかる
 ■ わからない
 ■ 全くわからない
 ■ 無回答



第5回小児在宅医療実技講習会

2014年3月21日(祝) 10:30~16:30

大宮ソニックシティ4F 市民ホール (さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

〈プログラム〉

- 10:30~10:35 会長挨拶 田村 正徳先生(埼玉医科大学総合医療センター小児科)
- 10:35~11:10 講義1 講師: 渡部 晋一先生(倉敷中央病院小児科)
- ① NICUと開業医の連携について
 - ② 在宅酸素療法
- 11:10~11:30 講義2 講師: 田中 裕次郎先生(県立小児医療センター小児外科)
- 胃瘻の管理
- 11:30~12:10 実習1 在宅酸素と胃瘻に関する実習
- 12:10~12:30 講義3 講師: 宮田 章子先生(さいわいこどもクリニック)
- (ランチョン) 小児在宅医療における診療報酬請求
- 12:30~13:00 休憩
- 13:00~13:30 講義4 講師: 松井 晃先生(埼玉県立小児医療センター臨床工学部)
- 在宅人工呼吸器
- 13:30~14:00 講義5 講師: 堤 剛先生(埼玉医科大学総合医療センター耳鼻科)
- 気管切開カニューレ
- 14:00~15:00 実習2 在宅人工呼吸器と気管切開カニューレの実習
- 15:00~16:00 特別講演 講師: 前田浩利(あおぞら診療所墨田)
- 16:00~16:30 質疑応答

対象: 小児在宅医療を目指す医師

参加費: 5000円

先着 60名

2/28(金) 締め切り

お申し込みは、氏名、施設名、住所、電話番号を下記 Address までお送りください。

お申し込み先 E-mail:

zaitaku@saitama-med.ac.jp

事務局: 埼玉医科大学総合医療センター小児科

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

Tel: 049-228-3550 Fax: 049-226-1424

<http://shounizaitakusenkenyukai.jp/> <http://www.happy-at-home.org/>

主催: 埼玉医科大学総合医療センター小児科

小児等在宅医療連携拠点事業

共催: 日本小児在宅医療支援研究会

赤ちゃん成育ネット ワーク

新生児医療連絡会

後援: 埼玉県小児科医会

: 日本小児科学会

小児在宅医療 マニュアル



2014-03-21 ver.

小児等在宅医療連携拠点事業

共催

日本小児在宅医療支援研究会
赤ちゃん成育ネットワーク
新生児医療連絡会

後援

埼玉小児科医会
日本小児科学会



小児在宅医療
マニュアル

2013-03-20ver.



DISK 1

制作：© 埼玉医科大学総合医療センター小児科
※無断複製・転載を禁じます。



小児在宅医療
マニュアル

2013-03-20ver.



DISK 2

制作：© 埼玉医科大学総合医療センター小児科
※無断複製・転載を禁じます。



教育関係者・一般市民等への啓発活動

活動	日付
保健師研修会を当院にて開催	<ul style="list-style-type: none"> •2013 12/5・12/6 •2014 1/16・1/17
川島ひばりヶ丘特別支援学校に医師派遣	<ul style="list-style-type: none"> •2013 5/14・6/11・7/16・9/17・10/29・12/10 •2014 1/28
川越あけぼの・ひかり児童園に医師派遣	<ul style="list-style-type: none"> •2013 5/21・6/18
坂戸ろう学園に医師派遣	<ul style="list-style-type: none"> •2013 8/27 •2014 3/19
NICU卒業家族を集めて「Happy smileの会」の開催	<ul style="list-style-type: none"> •2013 10/6
東埼玉総合病院主催の市民イベントに医師2名派遣。 小児在宅医療についての講演予定	<ul style="list-style-type: none"> •2014 3/9
市民公開シンポジウムにて講演予定 「すべてのお母さんと赤ちゃんの安全装置としての 小児在宅医療支援の重要性」	<ul style="list-style-type: none"> •2014 3/22

埼玉県医師会との共同作業

県立小児医療センターと連携して、県下の診療所医師に小児在宅医療への支援を求める(県医師会母子保健委員会に小児在宅医療小委員会を設置)。

日付	作業内容
5月17日(金)	小児在宅医療小委員会設置準備会議①
5月27日(月)	小児在宅医療小委員会設置準備会議②
6月21日(金)	小児在宅医療小委員会設置準備会議③
9月5日(木)	医療と介護と福祉の連携に関する研修会「小児在宅医療の現況について」解説
9月	32県医師会支部に小児在宅医療支援チームを結成・開始
10月～3月	各支部の在宅療養支援診療所と小児科医のペアによる訪問診療実施
2月27日(木)	第3回小児在宅医療検討小委員会にて講演

県医師会との連携

- 埼玉県母子保健委員会に3回の設置準備会議を経て小児在宅医療検討小委員会を正式設置。
- 県医師会員を対象とした「小児在宅医療現況説明会」を2回開催。
- 32郡市医師会に開業小児科医と在宅療養支援診療所医師のペアを結成して地域の小児在宅医療を担当するシステムの開始。



平成25年度からの埼玉県医師会による小児在宅医療支援策

背景: 周産期医療崩壊の危機感の共有

1. 埼玉県医師会母子保健委員会に小児在宅医療検討小委員会を発足

2. 県内32箇所[※]の郡市医師会に

在宅療養支援診療所と小児科クリニック医師のペアを結成



3. 埼玉県小児科医会が実技講習会用“マーちゃん人形”2体を提供

埼玉県小児科医会と埼玉医科大学総合医療センター の実習教材の県下施設や講習会への無料貸し出し

小児看護実習モデル（小児医療的ケアモデル）“まあちゃん” 貸出しについてご案内

埼玉医科大学総合医療センター小児科では埼玉県小児科医会にご購入頂いたものを含め、小児看護実習モデル（小児医療的ケアモデル）“まあちゃん”を3体保管しております。痰の吸引、経管栄養、導尿の練習が行う事が出来、小児医療的ケアの習得に役立つものです。

この人形を無償で貸し出しております（但し運送費は借用する施設の負担となります）ので、ご希望の施設は Fax にてお申し込み下さい。折り返し当方よりご連絡致します。

申し込み

埼玉医科大学総合医療センター小児科医局事務室宛

FAX：049-226-1424

貸出し期間は原則1週間以内と致します。

書式は特にありませんが、施設名、電話番号、連絡責任者を明記してください。FAX 後、平日 5 日以内に当方(保管しているカルガモの家)より連絡がない場合は電話にてお問い合わせ下さい。

埼玉医科大学総合医療センター小児科
医療型障害児入所施設 カルガモの家

連絡先

埼玉医科大学総合医療センター

小児科医局事務室

tel. 049-228-3550

Basic Nursing Skills

小児看護実習モデル “まあちゃん” （小児医療的ケアモデル）

M56A 11355-010

M56B 11355-000

小児への基本的看護技術の習得から、
病児への日常的サポート技術まで
トレーニングできる万能型！

- 「痰(たん)の吸引」
口腔内・鼻腔内・気管内吸引手技
- 「経管栄養」
腹部(ボタン型とチューブ型)胃腸栄養補給手技
鼻注経管栄養手技トレーニング
- 「導尿」
座位での男女の導尿実習
仰臥姿勢での導尿実習



製作にあたって

文部科学省により「小児医療的ケア」に関して、以下のように法的整備がなされてきました。

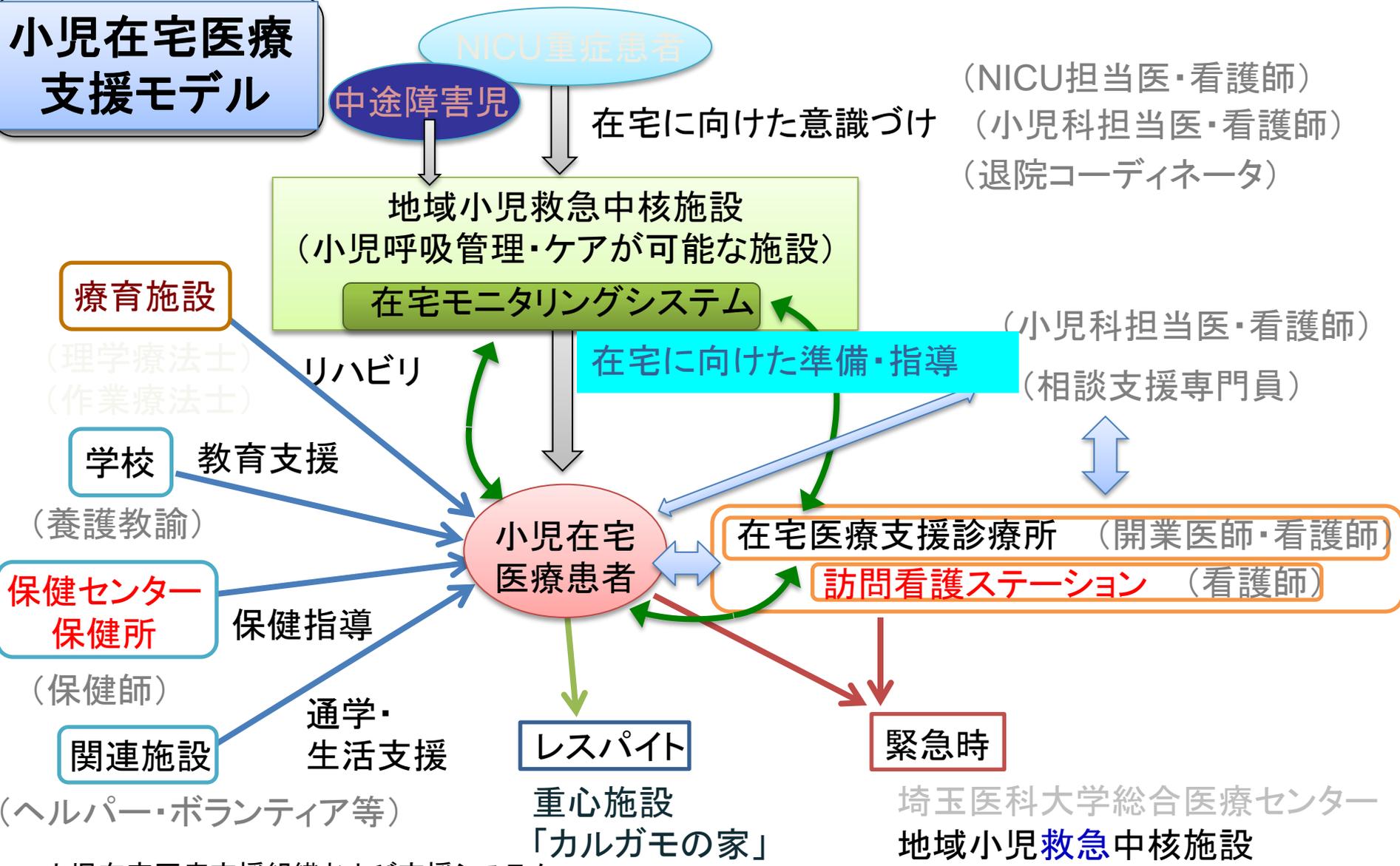
- 「盲・聾・養護学校におけるたん吸引等の医学的・法医学的管理に関するとりまとめ」H16年
- 「養護学校における医療的ケアに関するモデル事業」H15年より実施
- 「養護学校における医療的ケアに関するモデル事業」H15年より実施

埼玉医科大学総合医療センターに隣接して 医療型重度心身障害児施設 「カルガモの家」の活用

- 25年度4月開所
- 総入所ベッド44床
- うち21床が人工呼吸管理用
- 常勤小児科医師3名
- 当直や外来は埼玉医科大学総合医療センター小児科がバックアップ



小児在宅医療支援モデル



・小児在宅医療支援組織および支援システム

<研究会>

- ・埼玉県小児在宅医療支援研究会
- ・日本小児在宅医療支援研究会

<Webとメールリストの活用>

- ・小児在宅医療支援 Home page
- ・世話人・参加者メールリスト

<医療技術、機器の活用>

- ・遠隔SpO2モニター解析、応答システムの開発、モデル事業

・小児在宅医療支援には行政の協力が必要